

もったいない学会北海道支部会
第二回講演会
森のムダづかいを考える 講師 高橋邦秀さん(北大名誉教授)

第二回の講演会は北海道大学学術交流会館で開催されました。今回は30名の参加者がありました。

高橋さんは長く林野庁に勤務されその後北大農学部で研究・教育にあたってきました。その講演内容は以下の通りです。

日本の森林の利用状況について、昭和37年以降木材の輸入自由化の流れで利用率が低下し、特にロシアからの輸入材の増加で価格面で立ちゆかなくなりました。

しかし、森に蓄積されたバイオマスは増加し、それを活用することが重要になっています。

木材の自給率は約20%ですが、最近の中国での木材需要増大で、ロシアからの輸入量も減少しています。

そこで国内の森林を賢く利用することが望まれています。森を良くするには手入れを行い積極的に間伐することが重要です。間伐材は薪として燃料に活用することが可能です。

ドイツでは全エネルギーの5%は木材(薪や更にすすんだ木質燃料ペレット)でまかっています。スイスは更に10%にも達します。

北海道でも森の資源の利用率を40%も高められる可能性があります。賢い森の利用でムダづかいを減らすことが可能です。

木の1立方mの薪は灯油200リットルの熱量に等価です。薪ストーブや木質燃料ペレットストーブを利用することで化石燃料に依存しない生活が可能となります。

福田正己
北海道大学低温科学研究所